

このページは市民の皆さんが企画・編集したものです

悪書追放

見せない。売らない。読ませない。

子供の机のキタゲシにポ
ルノ雑誌をつけたとき、
「ニヤリ」となっていますか。
あなたにはドキリとされますか。
「ニヤリ」としてすませる
か。それとも余裕をもって
「ニヤリ」となっていますか。
「ニヤリ」としてすませる
か。それとも余裕をもって



加参市民にづく起市

「新潟市青少年補導センター」
「青少年補導員」の
存在を御存知ですか？
青少年達に、明かると健康
やかになんの屈折もなく成
人すれば、この上なく素晴
らしい事でしょう。しかし
社会の歪みが、また家庭の
かけりが、なんらかの影響
して社会の裏側を歩ませ
る子供も出てきています。
特に近年非行の低年齢化が
起き、その予防にも力を配
らねばならぬようになりました。
この社会の要請に応じて、

には、成長期の子供にとっ
てその内容があまりにもひ
どいというところをご存知で
すか。
性に興味をもつ子供は、
「ずかしい」という箇所(書
店のレシ)を通さなくても
購入する事のできる自動販
売機がずいぶんふよてきた
ようです。
「表現の自由」(営業の
自由)を旗印に、堂々とま
かり通るポルノ雑誌とその
販売機が市内に七十台ほど
あります。これに対し、県
や市では補導員の協力を得
て、販売機にステッカーを
はるつもり、業者にお願
いの文書を送るなどの活
動を続けられておりますが

親も子も タバコの「弊害」を もっと勉強して...

「こんな願いをこめて私
たち青少年補導員は、毎日市
内を歩きまわっております。
二、三、私たちがとりに組
んでいる活動の一面を市民
の皆さんに紹介して、考え
ていただこうと思っております。

編集委員

- 大島くみ子さん(内野町・主婦)
- 佐藤エイ子さん(万代五・主婦)
- 石橋政雄さん(女池・高校教諭)
- 藤井十四子さん(川岸町・主婦)
- 石崎隆司さん(松島一・会社員)

愛の呼びかけをモットーに 非行防止に活動する補導員

「新潟市青少年補導センター」
「青少年補導員」の
存在を御存知ですか？
青少年達に、明かると健康
やかになんの屈折もなく成
人すれば、この上なく素晴
らしい事でしょう。しかし
社会の歪みが、また家庭の
かけりが、なんらかの影響
して社会の裏側を歩ませ
る子供も出てきています。
特に近年非行の低年齢化が
起き、その予防にも力を配
らねばならぬようになりました。
この社会の要請に応じて、

さぐりの状態ですが、二回
目の調査の様子から、運
動に賛同する仲間が増え
てきていることと心強
く思っています。と話して
います。
同じような趣旨の活動を
地域の中ですすめているグ
ループが松浜にあります。
松浜地区青少年育成協会
青年会及びPTAでは昨年
秋、悪書追放のモットーに
指定されたのをきっかけ
に指定されたのをきかけ
て始めました。書店、スタ
ンド売り、自動販売機の設
置所へ直接訪問し、内容を
聞いてほしいと頼み、また

悪書追放のチラシを町内回 転して流しました。その結果 松浜地区の書店やスタ ンドではドギツイ雑誌がや りうろたへる地区で、さま ざまなかたで、悪書その 影をひそめ、一般的なも に変わってきたようです。 販売機についたはありますが 販売機にいたってはあまり連 べはありませぬ。しかし、 どこで手に入れたのか、小 学生が学校でこの種の雑誌 を回し読みしている現状を 聞いて驚かれています。

近頃未成年者タバコの
問題が体と心の健康の両面
からいろいろなところで話
題になっております。しか
その実態はなかなかつか
まれませんので、高校生数
十名から「生活と意見」を
たずねてみました。
その結果、未成年者が自
由にタバコを買入できるこ
とも問題ですが、親や子も
もう少しタバコの弊害につ
いて勉強してほしいと痛感
しました。以下、高校生の
声を紹介いたします。

きつかけは 「いたずら半分」

「現在の高校生は、どのく
らいタバコを吸っている
と思いますか？」
女「毎日のように吸って
いる男の子は、50位位
なんじゃないかしら。週
男「そんなにないよ。週
二、三回、いたずら程度
に吸っている者を入れて
五、六十位いるかもしれ
ない」と思う。
男「男子の場合、公共的な
所で吸っていることが多い
ので、補導員の目や親
の目につきやすく多勢の
生徒が吸っているように
思っています。女子はた
づつ、じょうずに吸われ
て吸っていると聞くと、
女「男の子から、さらわれ
るような女の子になりました
くないので、表面上は吸
っていない、表面に見せ
ているが二、三人のグル
ープで吸うこともあるわ
女「中学の二、三年頃、
友達に誘われて、好奇心
から吸ってみると言うこ
とが、一番多いと思いま
す。」



十二月〇日 小雷
三時半～五時
小雷のちやうど街の中、
デパート、遊技場など市の
中心部を巡視しました。デ
パートのゲーム場で、中
生三人連れがゲームに余念
がなくて、楽しそうに「
リガリ」としてました。
池を渡ってその塔の所が
リガリをやってました。
危険な場所、池のほと
ろに行かぬようにこの注
意書もあるの声をかけま
す。子供達が自由にのび
のびと遊ぶ公園が欲しい
からあまり遅くならないよ
うにと話して別れました。

「たばこを時々、または毎日吸っている」生徒
(市内A高校)

「たばこを自動販売機で買っている」生徒
(市内A高校)

このページは市民の皆さんが企画・編集したものです